



広 監 第 1 7 号
令和 3 年 1 2 月 7 日

広陵町議会議長 吉 村 裕 之 様

広陵町監査委員 赤 銅 修
同 坂 野 佳 宏



令和 3 年度定期監査の結果について（報告）

地方自治法第 1 9 9 条第 4 項の規定に基づき、令和 3 年度の定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、その結果を別紙のとおり報告します。

令和3年度

監査結果報告書

広陵町監査委員

地方自治法第199条第4項に基づく定期監査結果

1 定期監査執行期日及び監査の対象

監査年月日	監査の対象
令和3年10月18日	新清掃施設建設準備課・クリーンセンター業務課・西第二幼稚園
令和3年10月19日	住民課・環境対策課
令和3年10月20日	東小学校・真美ヶ丘中学校・北かぐやこども園
令和3年10月21日	議事課・税務課・生涯学習文化財課
令和3年10月25日	安全安心課
令和3年10月26日	会計課・上下水道業務課・上下水道施設課
令和3年10月27日	保険年金課・図書館・スポーツ振興課・中央公民館
令和3年11月 8日	けんこう推進課・教育総務課・学校支援室
令和3年11月 9日	地域振興課・用地開発課・都市整備課
令和3年11月10日	社会福祉課・介護福祉課・こども課・認定こども園準備室
令和3年11月15日	広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会・秘書人事課・総務課
令和3年11月16日	未来都市推進課・企画政策課

2 監査の場所

広陵町役場及び各出先機関

3 監査の方法

監査対象の各課（かい）において、令和3年度における事務事業及び予算の執行状況について提出された監査資料に基づき監査を実施した。

併せて、関係書類及び帳簿等の処理方法について審査を実施するとともに、担当課（かい）長及び担当者から事情聴取を行った。

4 監査の結果

令和3年度上半期の予算の執行について、令和2年度に引き続きコロナ禍の影響を受けて、計画どおりの執行ができない状況が窺えた。

しかし、そのような状況下でも、オンラインによる動画配信や密を避けて事業を実施し、新たな方法で行政サービスを展開しようと努力する姿勢が見受けられた。

予算執行については、当初予算要求時における配当計画の誤りや要求内容の誤りが幾つか見受けられたもの、昨年度と比較すると配当計画誤りは減少していた。

また、前年度決算においては、多額に上る不用額や繰越額が見受けられたことから、適切な執行管理について再度徹底して取り組んでいただきたい。

補助団体への補助金執行について、前年度においても必要性及び補助額の再考をしていただきたい旨、指摘させていただいた。今年度はコロナ禍で補助団体が従前どおりの事業が実施できず、補助金の返還を命令されているケースも幾つか見受けられたものの、全体を通して、余剰金を返還せず前年度繰越金として当該年度に計上されているケースが多く見受けられた。団体補助から事業補助への切替等、あり方を精査していただきたい。

新清掃施設建設準備課

今年度の課題等への対応

クリーンセンター広陵の跡地利用について、ごみ処理町民会議での協議から、更に踏み込んだ意見を収集し、現実的なものとするために、「仮称 跡地利用検討会」を発足されたことは前年度からの課題をもとに、今年度の進捗であると認められる。

一方で、平成17年に締結された操業停止後における協定では、公園緑地、教育文化施設、体育施設又は福祉施設に活用することとされているとのことだが、町で定めている公共施設等総合管理計画との関係性を踏まえると、協定内容が実現されるものかが危惧される。今後、住民のニーズを調査しながら協議するとのことであったため、今後の進捗を期待したい。

山辺・県北西部広域環境衛生組合及びまほろば環境衛生組合については、概ね順調に推移していると認められる。「天理市施設への搬入が、近隣住民意見により1時からしか搬入できないこと」及び「搬入車両は臭気対策として、鉄蓋密封式コンテナに限られることによるコスト増加」の課題について、コンテナのコスト減となるよう検討するとのことであるが、個別収集の時間変更による対応も検討に加えられる。しかし、いずれにしても、両課題とも近隣住民との約束に基づくものであれば、容易に変更は不可能と考えるため、慎重に対応願いたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

前年度の課題については、今年度の課題とも直結している事が多く、即効性のある課題対応は困難であるが、概ね順調な進捗が認められる。また、中継施設設置に向けての協定書の見直しについては、本町のごみ搬出に関して必要不可欠な課題と考えられるため、慎重に対応願いたい。

また、災害廃棄物の仮置き場については、現状課内においてのみ協議しているとのことであったが、全庁的に共有できるものとして精度を高めて現実的なものにしていただきたい。

予算執行状況

概ね適切に執行されていた。

その他

特になし。

クリーンセンター業務課

今年度の課題等への対応

令和4年3月18日の操業停止に向けて、山辺・県北西部広域環境衛生組合の構成団体等に対して、ごみの受け入れをお願いしているとのことであり、幾つかの受け入れ先が確保できていることなど一定の進捗が認められる。

また、令和4年4月以降の臭気対策として、エアカーテンの設置やその日収集したごみは可能な限り当日の搬出とするため、今年度中にごみピットの嵩上げ改修を予定しているとのことであったが、遺漏のないようお願いしたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

操業停止を見据えた最低限の修繕にとどめていることが窺えた。長期的な視点での修繕ではなく応急的なものとなっているため、施設の安全性の確保が懸念されるため、修繕業者等と適切に協議しながら、取り組んでいただきたい。

予算執行状況

概ね適正に処理されていた。

その他

(様式3について)

収集業者控室ゴキブリ駆除については、操業停止後も実施予定とのことであったため、コストカットの観点から、2者以上の見積徴取による業者決定を検討いただきたい。

プラットホームゴキブリ駆除については、ごみを民間業者へ搬出する際の配慮として今年度新たに取り組まれたとのことであったが、ピットの嵩上げを実施する際に、改善策を講じながら、経常的な経費とならないように考慮していただきたい。

(様式4について)

ごみ分別アプリ使用料について、現在の登録者は3,015件（人口割合で8.59%）とのことであったが、町のLINEとの連携等によるPRを検討していただきたい。

(不用額調査について)

100万円以上の不用額が数件あったが、全て炭化施設の不具合及び清掃実施に伴う運転日数の減少によるものであり、適切な理由であった。

西第二幼稚園	
今年度の課題等への対応	
<p>西小学校に係る工事（増築工事及び道路拡幅工事）及び畿央大学付属広陵こども園建設に向けた工事に対して、関係課と情報共有しながら、園児の安全な保育環境の維持に努められている。</p> <p>また、畿央大学付属広陵こども園建設に向けて、遊具の撤去やプールが使用できなくなるという状況に陥るとのことであったが、保育の公平性や均一性を確保するために、園長会で他の園の動向を注視しながら、公平な保育が行えるように、関係課と協議していただきたい。遊具やプールについては、リース等の一時的な対応の手立てが実施できないのか検討していただきたい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>畿央大学付属広陵こども園の開園に向けて、現施設の修繕は最低限なもの且つ職員での対応をされており、努力されていることが窺える。園職員では対応できない規模の修繕や安全性についての配慮も必要であることから、修繕の規模に関わらず、関係課との連携を密にして、閉園まで事故のないように取り組んでいただきたい。</p>	
予算執行状況	
概ね適切に執行されていた。	
その他	
特になし。	

住民課	
今年度の課題等への対応	
<p>役場の窓口として、課内全員が全ての業務に対応できるように又、マイナンバーカードの申請をされた方が12月まで取りに来庁されるため、窓口の体制を強化する目的で、事務分担をローテーションさせる等の取組が窺えた。</p> <p>マイナポイントの申込みが12月末で終了することについては、町として何か周知をしておく必要がないか検討していただきたい。</p> <p>サービスカウンターでの事務取扱件数については、平成29年度と比較すると減少傾向にある（平成29年度件数：4,030件・令和2年度件数：2,764件）との指摘については、既に令和6年10月までの機器更新を完了しているため、その間にコンビニでの交付率向上を図り、以後の対応を検討したいとのことであったため、コンビニでの交付率向上に向けた方策及び数値について注視したい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
前年度の課題に対しては、聴取した内容では概ね適切な進捗状況が窺えた。	
予算執行状況	
配当計画の誤りが見受けられたが、概ね適切に執行されていた。	
その他	
<p>(補助団体への補助金交付について)</p> <p>広陵町人権擁護委員会への補助金交付については、余剰金を繰越せず、町に返還されており適切に処理されていた。</p> <p>(不用額について)</p> <p>100万円以上の不用額について、適切な理由が示されていた。</p>	

環境対策課	
今年度の課題等への対応	
<p>所有者不明猫の対応として、TNR（T：捕獲・N：手術・R：戻す）の実施をされているとのことであったが、猫を戻すことについては地域住民によって意見が分かれることや動物愛護の視点から手術を施すことについては是非も含め、具体的な方策については模索中とのことであったため、次年度以降の展開に期待したい。</p> <p>犬の散歩に関するマナーアップとして、イエローチョーク作戦を実施されているとのことであったが、効果検証については今後検討していただきたい。</p> <p>クリーンキャンペーンについて、ボランティアによる清掃活動が増加していることから（ボランティア袋の回収量が増加傾向（クリーンセンター広陵の計測器による数値の積算による））、役場主導から住民主導へと転換させていきたいとのことであったが、具体的な方策については模索中とのことであり、次年度以降の展開に期待したい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>感染拡大防止の観点から、事業規模及び会議時間の縮小により、適切に実施されていることが窺えた。</p>	
予算執行状況	
<p>配当計画の誤りが多く見受けられた。</p>	
その他	
<p>（補助団体への補助金交付について） 広陵町食品衛生連合会への補助金交付については、令和2年度から令和3年度への繰越金が806,761円発生しているが、今年度も例年と同額の補助金交付決定がされているため、返還命令の検討を促した。</p> <p>（不用額について） 100万円以上の不用額について、適切な理由が示されていた。</p>	

東小学校
今年度の課題等への対応
<p>全児童に貸与されたクロームブックにより、新たな授業への取組に対して切磋琢磨されていることが窺えた。職歴7年目までの教職員が約半数とのことであり、情報機器については駆使できているいるが、経験不足が否めない部分もある。その辺りは、ベテランの教職員から吸収することで、補えている状況であった。</p> <p>学童保育が増加していることについて、「児童特別活動室・家庭科室・多目的室」を貸し出しているが、教職員の研修等による部屋の使用もあることから、苦慮されていることが窺える。普通教室の使用は困難とのことであったため、今後の増加については、別の場所を検討する必要もある。</p> <p>コミュニティスクールについては、徐々に進捗している様子が窺えるが、地域の声を学校運営に生かすことが難しいとの意見があった。現在、コロナ禍にある中で地域と協議を行うことも困難だと思うが、教育総務課とも協議し、他団体での先進的な取組を参考にしながら着実に進めていただきたい。</p>
前年度の課題及び監査結果報告書への対応
<p>特に見受けられなかった。</p>
予算執行状況
<p>町内学校の足並みを揃えるために教育総務課から執行を停止するよう要請があり、未執行の分が幾らかあった。</p> <p>その他、配当計画の誤りが幾らか見受けられたが、概ね適切に執行されていた。</p>
その他
<p>特になし</p>

<p>真美ヶ丘中学校</p>
<p>今年度の課題等への対応</p>
<p>学校が配布したタブレットによっていじめが発生するという他府県での事例を踏まえ、本町においても SNS を使った可視化されにくいいじめを危惧しているとのことであった。他府県と同様のケースが発生しないように、未然防止策を講じていただきたい。</p> <p>体育館の雨漏りやタイル修繕等、学校では対応できない大規模な修繕が発生しているとのことであったが、教育総務課との連携だけでなく、指定避難所として避難者の生活環境が保持される状況であるのか、との観点から防災担当課とも連携して施設管理をお願いしたい。</p>
<p>前年度の課題及び監査結果報告書への対応</p>
<p>施設の維持管理については、学校だけでは解決できない規模の修繕もあることから、関係課との連携により適切に取り組んでいただきたい。</p>
<p>予算執行状況</p>
<p>適切に執行されていた。</p>
<p>その他</p>
<p>(様式 3 について)</p> <p>「職員室パソコン保守点検業務委託」について、数年前に契約金額の見直しを行い現業者との契約を締結しているとのことであったが、今後もコストカットの意識をもって、見直しに取り組んでいただきたい。</p>

北かぐやこども園

今年度の課題等への対応

産休や育休制度の充実により、代替教員が必要となる事態がかなり増えている様子であり、その補充も中々思うように進んでいないことが窺える。秘書人事課及びこども課も、職員採用に向けて取り組んでいるとのことであったが、現場は疲弊している様子であった。募集については、直接雇用に限らず、運営の委託等多種多様な選択肢を考えていただきたい。

幼稚園機能と保育園機能が一体化となったことについて、多様な働き方に対応でき、子どもの学び等も増えることがメリットである。一方、両機能があることで保育やその他事務が複雑化するといった声もあった。

また、保護者が園行事に参加する頻度についても、幼稚園と保育園で差が大きくあり、児童に影響が出ている様子であった。

保護者対応のみならず、発生する様々な課題に対して苦慮されながら取り組んでおられる様子が窺えた。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

特になし。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

(様式3について)

「体育指導委託料」について、北かぐやこども園単体での契約でなく、一括契約としてスケールメリットを活かすことができないか関係課と協議していただきたい。

「建築設備定期検査報告業務委託事業」について、竣工時から建設業者と契約して実施してきたようだが、その他の業者でも実施可能であるため、見直しをしていただきたい。

(不用額調査表について)

「保育士会」の会費については、個人が任意で加入すべきものか、町で加入すべきものか、精査して適切に取り組んでいただきたい。

議事課
今年度の課題等への対応
<p>議会だよりのレイアウトについて、強くPRしたいものは目につきやすいスペースを設ける等の見直しをしていただきたい。</p> <p>インターネット録画配信について、アクセス数がかなり減少している。これについては、録画配信のみならず、ライブ配信も取り入れる等の見直しを検討していただきたい。</p> <p>また、議員別にアクセス数を公開する等、積極的な情報公開が行える取組をお願いしたい。</p>
前年度の課題及び監査結果報告書への対応
<p>インターネット録画配信について、適切に実施されていることが窺えたものの、上記の課題もあり、今後は更なる事業展開に期待したい。</p>
予算執行状況
<p>公用車に係る重量税について、予算計上誤りがあったが、その他は概ね適切に執行されていた。</p>
その他
<p>特になし。</p>

税務課
今年度の課題等への対応
<p>令和3年4月から導入したスマホアプリ決済納付について、一定の効果が見受けられた。その他の納付方法についても検討や情報収集を重ねているとのことであった。関係課と協議のうえ、納付の利便性向上に向けて取り組んでいただきたい。</p> <p>課税時期に向けて、課員全員が助け合えるように勉強会を実施し、スムーズな事務が行えるような取組み、その他、自主的なミーティングを月1回実施することで、スキルアップを図る取組みが認められた。</p>
前年度の課題及び監査結果報告書への対応
<p>コロナ禍での申告を非接触とすべく、申告書発送時に返信用封筒を同封したことで、返信用封筒による返信が48%あったことについては、一定の成果があったと見受けられる。今後、更に利便性を高めるために、記入のマニュアルも同封する取組を実施予定とのことであり、これからの取組に期待したい。</p> <p>「レジスター保守サービス委託料」について、令和4年度に更新を予定しており、その際に金額の見直しを検討するとのことであったため、適切に処理していただきたい。</p>
予算執行状況
<p>配当計画について幾つか誤りが見受けられた。その他は概ね適切に執行されていた。</p> <p>公売関係費において手数料の執行率が0%であったことについて、公売案件がなかったとの説明を受けたが、職員の経験不足により公売に着手できないことが大きな理由とされていたことから、今後、適切に執行できるように取り組んでいただきたい。</p>
その他
<p>(様式3について)</p> <p>「たばこ税啓発活動委託事業」について、委託先である広陵町たばこ組合には本委託金だけでなく団体に対する補助金も交付していることから、金額を見直すとのことであった。団体と協議を行い適切に事業を進めていただきたい。</p> <p>また、委託料が全て備品購入に充てられていることについては、委託料の必要性や用途についても見直しをすべきであり今後検討していただきたい。</p> <p>(補助団体への補助金交付について)</p> <p>「広陵町たばこ組合」への補助金交付について、前年度繰越金が発生していることから、補助金返還について検討いただきたい。</p>

生涯学習文化財課	
今年度の課題等への対応	
<p>コロナ禍にあつて、従前どおりのスケジュールで事業が進行していない様子が窺えるが、事業規模を再考する等、ウィズコロナ社会に即した形で進められていることが見受けられた。</p> <p>公民館建替及び文化芸術の振興のあり方検討委員会について、これからの時代に即した利用が行えるあり方を検討していただきたい。</p> <p>文化財係について、「文化財保存センターに展示している埴輪などの説明板の刷新を行う。町ホームページで情報発信を行う。」とのことであつたが、施設予約と文化財ガイド予約が一括して申し込める仕組み作りなど、利便性に配慮した対応をお願いしたい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>成人式について、中学校区毎に分けて2部制で実施し、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じていることが窺えた。</p> <p>文化財ガイド件数の増加について、感染拡大防止の観点から文化財施設の見学申込みを受け付けていないため、常時PRは行えていないとのことであつたが、継続な取組みを行っていただきたい。</p>	
予算執行状況	
<p>公用車に係る重量税について、予算計上誤りがあつたが、その他は概ね適切に執行されていた。</p>	
その他	
<p>特になし。</p>	

安全安心課	
今年度の課題等への対応	
<p>避難行動支援プランについては、同意者分の名簿を更新して各団体に提供されたとのことで、概ね順調に運用されていると思われる。一方で、個別支援計画の作成については理解が得にくい面もあるため苦慮されている様子が窺えた。</p> <p>地域防災計画の見直しについては、職員全員が有事の際は防災担当者となることの意識を定着させる内容としたいとのことであった。予定している研修等により適切に運用できるように取り組んでいただきたい。</p> <p>また、指定避難所に指定された施設の老朽化が進んでいるように見受けられるため、可能な限り、施設管理担当課と連携しながらチェックできる体制も考慮していただきたい。</p> <p>有事の際を見据えた様々な観点からの防災協定を締結されているが、行方不明者の捜索において、「救犬ジャパン」が活躍したとの意見があり、積極的な取組が効果的に機能していることが窺えた。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>IT 防災無線受信システム導入事業について、校区を限定して実証実験を行った結果、高齢者のみの世帯ではネット環境が無いため運用できないという課題が明らかになったとのことであるが、今後継続して行うべきか研究を重ねて次年度以降に報告していただきたい。</p> <p>指定避難所への分散備蓄に係る備蓄品搬送完了後の周知について、防災訓練時に見てもらおう、HP に備蓄品のリストを公開する等して、積極的に情報発信に努めている様子が窺えた。</p>	
予算執行状況	
<p>配当計画の誤りが見受けられた。その他は概ね適切に執行されていた。</p>	
その他	
<p>(補助団体への補助金交付について)</p> <p>親睦会的な要素が強いものについては、適切な監査人を任命し執行管理をお願いしたい。</p> <p>また、前年度繰越金が多いため、団体補助から事業費補助への転換についても併せて考慮していただきたい。</p>	

会計課
今年度の課題等への対応
<p>前年度から南都銀行の集金回数が減ったことについて、支払方法をFD支払に集約する等の事務の省力化に努めている様子が窺えた。</p> <p>備品管理について、次年度以降の財務会計システム入替の際に備品管理を併せて行えるようにしたいとのことであり、適切に実施できるよう準備を進めていただきたい。</p> <p>地方自治法施行令第168条の4の規定に基づき、指定金融機関の検査を適切に実施していただきたい。</p>
前年度の課題及び監査結果報告書への対応
<p>前年度の課題であった備品台帳の整備について、各課へ過去3年間に購入した備品について保管先等の照会を行ったことは一定の成果があったと認められる。例規の改正についても併せて取り組んでいただきたい。</p> <p>債券運用の手法検討について、現在、土地開発公社への貸付金があるため、運用するだけの余力がないとのことであった。公社からの返済があるまでに、運用の手法について引き続き検討願いたい。</p>
予算執行状況
適切に執行されていた。
その他
<p>(不用額調査表について)</p> <p>振込先の入力ミスによる振込訂正組戻手数料について、着実に件数は減少しているが未だ無ならない要因として、職員側のミスではなく債権者側の記入ミスが多いとのことであった。通帳の写しの提出を求める等の周知を徹底していただきたい。</p>

上下水道業務課
今年度の課題等への対応
<p>滞納整理状況について、給水停止をしたものの内、大半が分納等の対応により改善が進んでいる様子が窺えた。</p> <p>県域水道一体化について、令和6年度の奈良県広域水道企業団設立に向けて任意協議会が設立され、本町においても同会に参加して議論を重ねているとのことであった。進捗状況について随時、報告ができるように、適切に取り組んでいただきたい。</p>
前年度の課題及び監査結果報告書への対応
<p>下水道料金の適正化について、コロナ禍のため料金値上げの時機を逸しているとのことであったが、状況を見据え継続して取り組んでいただきたい。</p>
予算執行状況
<p>適切に執行されていた。</p>
その他
<p>特になし。</p>

上下水道施設課
今年度の課題等への対応
<p>水道管路耐震化推進事業について、従前からの真美ヶ丘配水場地区の耐震化が終了し、笠区から寺戸区へ向けた耐震化事業を進めていくとのことであり、順調な進捗が認められた。</p> <p>濁水対策事業及び水道施設再構築基本計画策定について、人員不足により未執行とのことであり、下半期においては人員配置を見直して執行するとのことであった。前年度の定期監査においても、管路の劣化による濁水発生リスクは高まっているとのことであったため、下半期以降で適切に執行していただきたい。</p>
前年度の課題及び監査結果報告書への対応
<p>南郷浄水場の解体工事については、ガス漏れ事故の影響で僅かに遅延した様子が見受けられた。</p> <p>また、ガス漏れ事故の処理についても、近隣住民へのケアを行いながら適切に処理していただきたい。</p>
予算執行状況
適切に執行されていた。
その他
特になし。

保険年金課	
今年度の課題等への対応	
<p>令和3年10月から医療機関でマイナンバーカードが保険証として利用できるようになることについて、リーフレットを作成し、近隣の医療機関で保険証利用できるように案内を検討中とのことであったが、利便性向上に向けて積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、他市町村からの転入者については、マイナンバーを利用することにより「所得・課税証明」の提出が不要となることから、本町における事務の効率化を図るためにも、住民課とともに普及啓発にも取り組んでいただきたい。</p> <p>国民健康保険事業の県単一化について、保険料の値上げ等、懸念される点については、住民や議会等に報告できるように準備をお願いしたい。</p> <p>高額療養費の支給について、窓口に来なくても支給の可否が判別できる仕組みの導入に向けて研究を重ねていくとのことであったが、住民サービスの向上に向けて積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>書類発送の際、送り先が分かるように発送リストを作成しているとのことであり、事務の遺漏がないように取り組まれているように感じられた。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>国保係について、令和6年度の統一税率の県単位化に向けて、統一制度へ事務の見直しや税率の改訂時期を検討中とのことであったが、引き続きの課題として住民や議会に対して進捗報告できるように取り組んでいただきたい。</p>	
予算執行状況	
適切に執行されていた。	
その他	
特になし。	

図書館	
今年度の課題等への対応	
<p>図書館の登録者について、昨年度と比較して減少傾向にあるように見受けられる。</p> <p>また、子どもの登録者を増やすという目標があるとのことであったが、町内学校と連携しながら新規登録者の増加に向けて取り組んでいただきたい。</p> <p>図書館事業のPRについて、4か月児健診時に、こども講座を実施していることをPRしているとのことであったが、転入者に対して図書館のPRも行えるように、取り組みを考えていただきたい。</p> <p>インターネットによる図書館利用について、今後時代の流れに沿って利用が増加することが想定される。現在も、予約数のうちインターネットによる予約は4割を超えているとのことであったが、ネット予約に限らず、本及び視聴覚教材の閲覧のあり方も検討していただきたい。</p> <p>蔵書点検について、2週間程度の点検期間を要しており、その間は閉館となっているが、不明図書の件数とそれを把握するためのコストを考慮して期間の短縮等をはじめ点検のあり方について検討していただきたい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>コロナ禍により利用が増加した電子図書館については、タイトル数が増加し、貸出も約3倍となっていることから、一定の成果が見受けられた。</p> <p>インターネットでの予約についても、前年度と比較して件数が伸びており、順調な成果が見受けられた。</p>	
予算執行状況	
適切に執行されていた。	
その他	
特になし。	

スポーツ振興課	
今年度の課題等への対応	
<p>公民館の主催講座について、従前通りの固定されたものに限らず、新たな内容を取り入れる等の取り組みが見受けられた。</p> <p>公民館係及び社会体育係の両方とも、集客イベントが多いため、コロナ禍での活動について苦慮されているように見受けられるが、体育祭の代替事業として、体力測定によるけんこう増進事業を企画されているとのことであり、関係課とも連携しながら、適切に取り組んでいただきたい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>社会体育係について、北葛城郡体育協会及び町体育協会主催事業が中止となってきたが、代替案の提示が見受けられたため、今年度以降に適切に進めていただきたい。</p> <p>20万円未満の委託料については、前年度同様の事業であってもコストカットを意識した見積徴取をお願いしていたが、今年度についても一部、コストが増加している事業があったため、再度、確認を徹底していただきたい。</p>	
予算執行状況	
適切に執行されていた。	
その他	
<p>(様式3について)</p> <p>電動リフト保守点検業務委託について、契約内容は前年度と同様であるにも関わらず、契約金額が増加していたが、見積書の徴取を行う時点での確認を徹底していただきたい。</p> <p>広陵中央公民館漏水調査委託について、水道料金の著しい増加に伴い委託契約したものの、具体的な要因は不明のまま、水道料金の増加が止まったとのことであったが、今後も同じ事がないように管理していただきたい。</p> <p>(補助団体への補助金交付について)</p> <p>広陵町スポーツ協会について、従前から繰越金が発生しているため、町への返還や事業費補助への転換等を検討していただきたい。</p>	

けんこう推進課

今年度の課題等への対応

妊婦教室（マザークラス・パパママクラス）事業や離乳食教室事業等について、コロナ禍で従前どおりの事業が実施できず苦慮されている様子が以前から窺えていたが、町ホームページに、おむつ交換の仕方、抱っこの仕方及びお風呂の入れ方等の動画を掲載していつでも見られるようにしたり、ZOOMによるオンライン形式にて訪問事業や相談事業を実施する等、積極的な取り組みが見受けられた。また、管理栄養士の復帰に伴い、今後、離乳食の動画のバリエーションを増加させることができるように、取り組んでいただきたい。

乳幼児相談事業について、従前から行っていた1歳児相談を10か月児相談へと転換する事により、発達の変化への早期対応や栄養相談へのスムーズな情報共有等、母子にとってのメリット増加に繋がるなど、一定の効果が認められた。

がん検診事業について、集団検診の受付の混雑回避のため、オンラインでの先行予約を実施した事で一定の効果があつたとのことであつたが、次年度以降も引き続き混雑回避及び利便性向上に向けて研究していただきたい。

地域巡回型健康教室については、コロナ禍にあつて開催が見送られてきたが、復活を望む声が多かつたことから、感染拡大に配慮した上で実施されたとのことであつた。今後も、地域力の向上に寄与できるように、あり方を検討しながら、継続できるように努めていただきたい。

また、新型コロナウイルスワクチン接種事業については、兼務対応の事業として多忙を極めている様子が窺えた。そのような中、確認漏れや支払い事務の遅延という不適切な事務処理が認められたことから、チェック体制の見直しなど早急に事務改善に取り組んでいただきたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

オンラインでの非接触により事業実施に取り組んできたことについて、ホームページによる動画配信だけでなく、ZOOM方式による取り組みも併せて実施されている等、積極的な取り組みが認められた。

がん予防推進員について、コロナ禍にあつて講演会は開催できなかったものの、広報等による周知の結果、新たに3名の推進員が登録されており、前向きな取り組みによる効果が認められた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

特になし。

教育総務課

今年度の課題等への対応

教育大綱見直し及び教育振興基本計画策定について、令和3年度策定に向けて取り組んでいるとのことであったが、町総合計画との整合性や、パブリックコメントの実施により計画が実現可能なものとなるように、積極的に取り組んでいただきたい。

施設整備について、以前にトイレ改修工事において、遅れが見受けられた事もあったが、現在は順調な進捗が認められた。また、今後に広陵西小学校に屋上防水工事が予定されているが、ファシリティマネジメント担当課と連携しながら、今後の展望をもって適切に取り組んでいただきたい。

GIGA スクール構想について、前年度の導入時期においては、現場からの不安視される声が多かったが、教育総務課の働きかけにより、順調な運用が窺えた。今後、更に発展した授業形態が展開されると思われるが、適切な対応を引き続きお願いしたい。また、機器更新やランニングコストの費用負担については、根拠をもって適切な説明が行えるように準備していただきたい。

教員の働き方改革について、部活動指導員に外部指導員を導入する事で対応しているとの事であったが、人材は校長権限により発掘されるとのことであったため、学校間での差異が生じないように教育総務課も連携しながら適切に取り組んでいただきたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

小学校トイレ改修工事について、以前に事業の遅延が指摘されたが、それ以降は順調な事業実施が認められた。

GIGA スクール構想の環境整備について、積極的に教職員への研修が行われている様子が認められた。

コミュニティスクールについて、コロナ禍であることも影響しているが、順調に移行できていないように感じられる。地域の声を学校運営に反映させるという難しい事業であるが、他団体の取り組みを参考にしながら、適切に取り組んでいただきたい。

予算執行状況

配当計画の誤りが幾つか見受けられたが、概ね適切に執行されていた。

その他

(補助団体への補助金交付について)

余剰金については、町に返還されており適切な処理がなされていた。

生徒指導補助金については、前年度の定期監査において、年度末での執行が多く見受けられていたが、教育総務課にて適切に執行管理されている様子であった。今後も引き続き、適切に取り組んでいただきたい。

学校支援室	
今年度の課題等への対応	
<p>通級指導教室について、今年度から広陵北小学校において、新たに開設されたとのことであり、真美ヶ丘中学校区を真美ヶ丘第二小学校で、広陵中学校区を広陵北小学校区で対応するとのことであった。しかしながら、既に広陵中学校区の児童数の増加に伴い通級指導を受ける児童が増加する見込みであるため、対応できるように準備をお願いしたい。</p> <p>学力向上支援について、今年度、町内全ての小学校で広陵放課後塾が開校された事については、積極的な取り組みの成果と認められる。放課後塾開催による、児童の学力向上における効果測定については困難な部分もあるが、引き続きより良いものとなるように継続して取り組んでいただきたい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>広陵放課後塾について、前年度はコロナ禍のため予定どおりの事業実施とならなかったが、今年度には、町内全小学校での開校が実現されており、一定の成果が認められた。</p>	
予算執行状況	
<p>適切に執行されていた。</p>	
その他	
<p>特になし。</p>	

地域振興課	
今年度の課題等への対応	
<p>商工振興について、広陵町中小企業・小規模企業新商品開発補助金については、KoCo-Biz センター長の意見書を付して申請することが補助金交付の条件であったが、KoCo-Biz への相談については、1回で終了するケースもあれば継続的に相談しなければならないケースもあり、伴走支援に苦慮されている様子が窺えた。今後も、単に新商品の開発だけに終わらないような制度設計を引き続き研究していただきたい。</p> <p>「広陵くつした」について、事業者自身が有するブランド商品であることを方針としているため、今後、自社でブランド商品を製造する意欲のある事業者をいかに増やしていくかが課題とのことであったため、継続して事業発展に向けて取りくんでいただきたい。</p> <p>KoCo-Biz について、現在、相談予約が1ヶ月半待ちとのことであり、順調な事業の進捗が認められる。また、8月から、新たに葛城市・御所市・三宅町の事業者を相談可能としており、次年度から相談件数に応じた負担金を徴収するとのことであったが、新たな事業者の参画に伴い、更に相談予約が取れない状況に陥ることが危惧される。これについては、副センター長の採用等により対応したいとのことであったが、財源の問題を含め円滑な運営について引き続き検討していただきたい。</p> <p>観光及びプロモーションについて、今後は町内在住者が広陵町の魅力を発信する、インナープロモーションに取り組むとのことであったが、今年度以降、適切に取り組めるように研究していただきたい。</p> <p>指定管理者について、はしお元気村については、マルシェ及び講座の収入が以前よりも増加しており、一定の効果が見受けられたとのことであった。次年度以降も、引き続き収入増加となるような取り組みについて研究を重ねていただきたい。</p> <p>ふるさと会館については、コロナ禍の影響もあり、宿泊客は0という現状であった。また、近隣市町における新たなホテル建築等もあり、将来展望について要検討とのことであったため、指定管理者と連携しながら適切に対応して、町財政の負担とならぬようにしていただきたい。</p> <p>人・農地プランについて、地域の農業における中心経営体や地域における農業のあり方等を明確化及び実質化させるために、アンケート調査を実施し、その集計結果をもとに、地域での話し合いや地図による現況把握を進めて、とりまとめを行うとのことであったが、次年度以降の監査等においても進捗を報告できるように準備していただき、将来の展望についても研究して示していただきたい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>産業総合振興機構における自走に向けた取り組みについて、国からの交付金に依存せず、ふるさと納税を主軸とした自走経営を目指したいとのことであった。今後も、自走経営が実施できているか注視していただき、住民及び議会へも適切に説明できるように準備していただきたい。また、町のPRを行う営業マンのような人材も必要とのことであったが、費用対効果を勘案しながら、取り組んでいただきたい。</p> <p>国勢調査について、住基補記が可能となったことにより、以前よりも現状に即した数値が結果として反映されていたと認められる。</p>	
予算執行状況	
適切に執行されていた。	
その他	
<p>(補助団体への補助金執行について)</p> <p>広陵町プラスチック協会及び広陵町統計協会については、次年度繰越金が発生しているた</p>	

め、次年度以降は補助金の必要性等を検討するとのことであった。

用地開発課

今年度の課題等への対応

企業誘致について、昨年12月の1次エントリーから現在に至るまで内定を辞退する企業はないとのことであったが、2次エントリーの受付が開始されることから、引き続き、事業の成功を目指して適切に取り組んでいただきたい。

用地取得について、令和2～3年度において用地取得率100%を目指すことが当時の目標であったが、現在は70%に止まっている。次年度以降、スムーズに工事等、次の段階へ移行できるように取り組んでいただきたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

用地取得目標について、現状は70%の進捗であり、今後も引き続き、用地取得率100%を目指して取り組んでいただきたい。

企業誘致について、2次エントリーに向けて継続して準備をお願いしたい。

予算執行状況

用地取得ができていないため、執行できていない予算が多く見受けられた。前年度の監査意見書においても同内容の指摘があったため、今後、執行できるように適切に事業の執行を管理していただきたい。

その他

特になし。

都市整備課	
今年度の課題等への対応	
<p>主要事業について、道路台帳システム更新については、統合型 GIS システム導入を予定されており、今後のスマートシティへの第一歩となるように、関係課と連携しながら適切に執行していただきたい。</p> <p>町営住宅について、現状の戸数について必要性がないとの結論を出し集約化に努めているとのことであったが、今後、進捗状況及び展望を住民及び議会へも報告できるように適切に進めていただきたい。</p> <p>全体的に事業数が多く執行管理に苦慮されている様子が窺える。補助事業も多く地元要望に手が回らないとのことであったが、基本的には予算の単年度主義であることを念頭に予算管理に努めていただき、繰越事業が次年度の負担とならないようにしていただきたい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>事業の遅延防止について、概ね順調な進捗が認められたが、今年度においても繰越事業が多くあることから、引き続き、事業の遅延がないように管理していただきたい。</p> <p>建設系の日常業務について、補助事業が多く地元要望に手が回っていないという課題については現在も解決に至っておらず、年度を越えてでも順番に対応していくとのことであった。次年度以降も、同様の対応とならぬよう、改善に取り組んでいただきたい。</p>	
予算執行状況	
概ね適切に執行されていた。	
その他	
特になし。	

社会福祉課

今年度の課題等への対応

地域福祉計画について、計画内容の進捗確認を行う地域福祉計画策定委員会を8月に開催予定であったが、コロナ禍中であったため実施できていないとのことであった。計画内容の進捗や達成指標については、委員会での結果を今後説明できるように適切に管理し、執行していただきたい。

避難行動要支援者名簿について、全同意者を集約したものは完成して区長・自治会長及び民生児童委員へ提供されたとのことであり、一定の成果が認められた。現在、個人毎のファイル作成を目指して、民生児童委員が地元調査を行われているとのことであったが、次年度以降、進捗状況を報告できるように準備願いたい。

戦没者追悼式のあり方について、こどもの参加等による新たな取り組みを模索されているとのことであったが、今後も引き続き研究を重ねていただきたい。

福祉年金の支払い業務について、今後、継続するか若しくは代替案を考えるか検討することであった。事前アンケート結果では、継続を望む声が多く寄せられているとのことであったため、近隣団体の例も参考にしながら、適切な説明が行えるように取り組んでいただきたい。

障がい者施設で製作される授産品販売について、さわやかホール内での物品販売が新型コロナウイルスに係る予防接種会場となったことに伴い使用できなくなったことから、新たな販売ルートの確保に努めているとのことであった。現在においても、いちご農家と連携する等、積極的な事業の取り組みを続けられているが、今後も更に新規販売ルートの開拓に努めていただきたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

避難行動要支援者名簿について、個人ごとの計画を策定することであったが、現在も継続して実施中とのことであり、早期に実現できるように努めていただきたい。

会館の維持管理については、今年度についても不良箇所や老朽化箇所の対応に追われている様子が窺えることから、計画的且つ円滑な執行管理に努めていただきたい。

障がい福祉サービスに繋がっていない人の洗い出しについて、洗い出し作業は順調に完了し、今年度下半期で分析を行うとのことであった。次年度以降に、分析結果を報告できるよう準備していただきたい。

予算執行状況

概ね適切に執行されていた。

その他

(様式3について)

花壇植栽業務について、現在、シルバー人材センターに委託しているが、障がい者施設へも委託ができないか検討していただきたい。

(様式4について)

床マット賃借料について、オリジナルマットでなければならない必要性があるのか、マットとしての機能だけを求めるのであれば、他の方法も検討していただきたい。

観葉植物賃貸借契約について、今後、必要性を検討していただきたい。

(補助団体への補助金交付について)

広陵町社会福祉協議会への補助金交付について、人件費のみへの充当としか確認できなかったため、必要性については適切に判断して執行していただきたい。

民生児童委員協議会への補助金交付について、多額の繰越金があることから、今後減額や返還の協議を行っていただきたい。

更生保護女性会への補助金交付について、繰越金が発生しているが、町補助金以外にも会費が収入として存在するため、一概に返還を請求できないとのことであったが、事業費補助への転換を提案する等の協議を行っていただきたい。

(不用額調査について)

当初、大型スクリーンの購入を予定していたが、雨漏り修繕を実施した際に併せて同業者に設置してもらったため、備品購入費が全て不用額となっていた事例があったが、事業の性質が異なるものについては、業者選定等の契約事務を慎重且つ丁寧に行っていただきたい。

介護福祉課

今年度の課題等への対応

入退院調整マニュアルについて、病院アンケートの結果、「必ず活用している」と回答した結果が増加したとのことであり、周知については一定の成果があったと認められる。今後も、定着化を目指して、周知及び活用について引き続き取り組んでいただきたい。

認知症施策について、認知症高齢者の推移は、平成27年度から令和元年度までを比較すると、119人増加しており、今後の体制強化や周知が必要とのことであった。認知症を医療に繋げて地域でもケアが行えるように、認知症初期集中支援チームやキッズサポーター等の取り組みを展開されているが、認知症になる前から地域サロン等へ出向くことで地域と接触する機会を多く持つ仕組み作りが、まず必要とのことであった。今後は、仕組みづくりについて研究していただき、効果を測定していただきたい。

介護人材の確保について、現在、高齢化や業務の複雑化に伴い人材不足が課題となっているとのことであった。今後、ニーズが増加することが見込まれるため、人材育成については継続して取り組んでいただき、業務効率化の観点からICT導入等の検討を進めていただきたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

概ね順調に対応が進んでいるものと認められる。

地域包括ケアシステムに関することについては、認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催し、本町における課題整理を行い、認知症本人やその家族の声を反映し、本人の社会参画を検討しているとのことであったため、次年度以降の成果に期待したい。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

(補助団体への補助金交付について)

広陵町シルバー人材センターへの補助金交付について、毎年多額の繰越金が発生しているが、返還命令についての検討をお願いしたい。

今年度の課題等への対応

【こども課】

保育・幼稚園係について、育児休業手当が2歳まで取得できることもあり、2歳からの応募が多くなっている。また、総体的に保育ニーズが高くなっており、受け皿の確保に努めるとのことであったが、待機児童を出さぬように引き続き取り組んでいただきたい。

放課後児童健全育成事業について、あすなろクラブ、かしのきクラブ、ひまわりクラブ及びすぎのきクラブで定員を上回っている状態であり、小学校の教室を利用できないか調整中とのことであった。また、地元公民館の利用についても併せて交渉しているとのことであったが、毎日の利用となると地元住民の利用にも支障が出てることが懸念され、また、各地元公民館に分散させると人材を確保しなければならないことにもなるため、利用は困難とのことであった。学校監査（広陵東小学校）においても、現在、複数の特別教室を貸出してもなお、解消には至っていない状況とのことであったため、今後も引き続き、庁内全体で協議していただきたい。

【認定子ども園準備室】

各事業ともに、スケジュールに余裕がない中、適切に事業が進められているように窺える。

また、次年度以降には広陵東小学校区において、認定子ども園建設の可能性を検討していくとのことであったため、進捗の報告を適宜行えるように準備していただきたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

前年度からの課題について、保育ニーズ増加に伴う受け皿の確保や放課後児童健全育成事業における実施場所の問題等、今年度も継続して取り組んでおられる課題が多い。どの課題についても一朝一夕には解決しないものであると思われるが、今後も新たな提案が行えるよう、引き続き取り組んでいただきたい。

児童手当の電子申請について、前年度の定期監査では、事務の負担軽減を目指して増加するように努めるとのことであったが、電子申請数は昨年とほぼ同様とのことであり、引き続き周知に努めていただきたい。

予算執行状況

子ども・子育て会議の開催について、書面により対応したため、報酬の支払いが未執行となっていたが、書面での審査等の場合でも、支払いの対象とすべきであることを指摘した。

子どもの広場遊具補助金について、上半期の執行率4%と低い状況であるが、例年、申請数があまりない状態が継続しているのであれば、予算要求についても見直していただきたい。

その他

(補助団体への補助金交付について)

広陵四ツ葉会への補助金交付について、適切に補助金の返還が実施されていた。

今年度の課題等への対応

残食率について、令和元年度13.0%から令和2年度10.7%へ減少したとのことであったが、減少した要因について分析していただきたい。また、提供すべき食数よりも多めに作っているとのことであったが、多めに作っている分の全体に占める割合についても、今後併せてご報告願いたい。

アンケートについて、メニューに係る内容ではなく量の多さや給食の時間について等、残食率の改善に繋がるような細かな分析も実施していただきたい。

また、今後、生徒の減少に伴い給食センターのキャパにも余裕が出ていくことが想定されるが、これからの展望についても、住民及び議会に対して説明できるように努めていただきたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

残食率については、団体によって定義が異なるとのことであったが、比較することに対して意義があるのかも含めて、今後の報告については検討していただきたい。

予算執行状況

備品購入費について、執行率が0%となっていたが、予算要求時に特に必要でないが概算で計上したとのことであったため、次年度以降は予算編成時に担当課での協議や予算査定を受ける等したうえで適切に取り組んでいただきたい。

その他

特になし。

秘書人事課

今年度の課題等への対応

ホームページの改善について、多くの課が課題と考えている様子であったが、個別研修を実施することで、直接的な改善を図る等、一定の成果が見受けられた。年内に個別研修を全て終わるとのことであったため、次年度以降のホームページの改善に期待したい。

人事・給与係について、下半期は繁忙期となるため、業務を前倒し及び日常の業務改善により計画的に進めたいとのことであったが、業務量もかなり多いことが見込まれるため、簡単なことではないと想定されるが、次年度の監査において改善結果を示していただけるように努めていただきたい。

職員の研修について、コミュニケーション力の向上や説明力の向上が課題であるため、接遇マニュアルを作成中とのことであった。次年度以降、接遇マニュアルに基づき改善した点や狙い等を報告していただけるように、準備願いたい。また、民間の会社への出向により、基礎的なスキル向上を目指すという選択肢についても検討していただきたい。

人員配置について、基本的に3～4年間を目処として異動し様々な業務を経験する中で、自分の適性を見抜くことを目的としているとのことであったが、自らが適性に気付くことは難しく、組織として職員の適性を見極め、適切なアドバイスを行う等により適材適所の配置が行えるように努めていただきたい。

前年度の課題及び監査結果報告書への対応

概ね順調な進捗が認められた。また、進捗が芳しくないものについても、今年度引き続き継続的に取り組んでいる様子が窺えた。

予算執行状況

適切に執行されていた。

その他

(様式3について)

メンター・メンティー研修 研修業務委託事業について、同じ内容で同じ相手との契約において、契約金額が増額となっていたが、適正な価格を確認するために、他社からの参考見積を徴取した経緯がみられ、コスト意識を念頭に業務をされている様子が窺えた。

総務課	
今年度の課題等への対応	
<p>文書庶務係について、電子決裁機能及び電子供覧機能を有する文書管理システムの導入を予定しているとのことであったが、議会等へも積極的に提案して、完全にペーパーレス化を実現していただきたい。また、押印の見直しについては、まず該当する条例を12月議会へ上程し、その後、個別例規の改正についても、下半期で対応するとのことであったが、遺漏のないように対応していただきたい。</p> <p>管理係について、庁舎の空調システムの更新について、サウンディング調査を実施して最適な方法を検討しているとのことであったが、次年度以降に成果が報告できるように適切に取り組んでいただきたい。</p> <p>財産の活用について、今年度、旧馬見南1丁目集会所について一般競争入札を予定しているとのことであったが、その他の財産についても、有効活用や売却を検討していただきたい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>概ね順調な進捗が認められた。</p> <p>共同推進係については、コロナウイルスの影響もあり事業実施が困難であるが、今年度も引き続きオンライン方式での研修を取り入れて、継続して取り組んでいただきたい。</p> <p>町民ホールのあり方について、有効な利用方法を引き続き検討していただきたい。</p>	
予算執行状況	
適切に執行されていた。	
その他	
特になし。	

未来都市推進課
今年度の課題等への対応
<p>ネットワーク入れ替え及びテレワーク環境の導入について、今年度中にネットワークを無線化し、自デスク以外でも業務可能となるように環境改善することであったが、利便性の向上に向けて積極的且つ遺漏のないように取り組んでいただきたい。また、テレワークについては、ネットワーク整備のみならず、積極的に職員が実施できるような環境作りについても、関係課と協議しながら実現していただきたい。</p> <p>スマートシティの公募について、広陵町の規模に応じた内容をスマートシティ実現に向けて、次年度に応募できるよう準備をしているとのことであったが、次年度以降に、具体的な内容や目標について、説明できるように準備をお願いしたい。</p> <p>ペーパーレス化については、次年度以降に予算計上して具体的に実施予定とのことであったが、総務課と連携して、議会及び職員の理解を得ながら適切に取り組んでいただきたい。</p>
前年度の課題及び監査結果報告書への対応
<p>前年度の課題については、継続して改善に向けた取り組みをされている様子が認められた。</p>
予算執行状況
<p>適切に執行されていた。</p>
その他
<p>特になし。</p>

企画政策課	
今年度の課題等への対応	
<p>協働のまちづくりについて、防災や介護の分野においても地域で活動をしているケースが多いため、全庁的な活動を網羅しながら、より良いまちづくりの窓口として引き続き取り組んでいただきたい。また、まちづくり提案事業についても、5件採択をしたとのことであり、民間団体が増加傾向にあるとのことであった。更なる周知に努めていただきたい。</p> <p>協働推進係について、コミュティカルテの作成を今年度中に、真美一まちづくり協議会設立準備会からまちづくり協議会への移行を次年度中に実施予定とのことであったが、適切に実施できるように取り組んでいただきたい。</p> <p>図書館の指定管理業務について、次年度以降に民間事業者へサウンディング調査を実施するとのことであったが、サービスの低下及び財政負担にならないように取り組んでいただきたい。また、進捗については報告できるように準備をお願いしたい。</p> <p>公共交通について、アンケート調査を実施して、公共交通の方向性を定めて3月議会へ上程するとのことであったが、次年度以降、その分析結果に基づく成果等を報告できるように準備願いたい。</p>	
前年度の課題及び監査結果報告書への対応	
<p>前年度の課題については、概ね順調な対応が見受けられた。残された課題についても継続して改善に向けた取り組みをされている様子が窺えた。</p> <p>地域担当職員制度について、地域との関係性の希薄化を考慮すると、新たな制度への取り組みが必要とのことであった。一朝一夕には解決しない課題ではあるが、現状分析を踏まえて、次年度以降に研究を重ねていただきたい。</p> <p>移住・定住施策について、令和2年11月に移住・定住コンシェルジュが撤退し、図書館の指定管理者導入に向けたサウンディング調査時に、併せて跡地利用の検討をしているとのことであったが、次年度以降に進捗の報告ができるよう準備願いたい。</p>	
予算執行状況	
適切に執行されていた。	
その他	
<p>(補助団体への補助金交付について)</p> <p>どの団体においても、余剰金が適切に返還されているなど適切に対応されていた。</p>	